

委員会等の会議録

1 会議名	第1回 愛南柑橘営農環境改革推進協議会	
2 議題	(1) 河内晩柑(愛南ゴールド)PR・販売促進の報告について (2) 柑橘加工施設整備等意向調査について (3) その他	
3 開催日時	平成30年6月29日(金) 14時00分から16時00分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁 2階 第一会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	吉村克己、河野仁、小野山純平、原田和生、孝野覚也、酒井眞理子、山本哲也、和家重富、山田聡、西崎梅一、松田昌治、木村勝彦、藤田重徳	
7 担当所属	所属名	農林課
	担当職員 (職・氏名)	課長補佐 山本正文 係長 近平高宜
	所属名	農業支援センター
	担当職員 (職・氏名)	都合により出席無し
8 その他の 出席職員	所属名	愛媛県南予地方局 産業振興課 産地育成室
	出席職員 (職・氏名)	専門員 玉井敬久
	所属名	愛南農業指導班
	出席職員	担当係長 橋岡源宗
	所属名	株式会社 IRC
	出席職員	黒田明良、土岐博史
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
吉村課長	(開会あいさつ)
山本課長補佐	(協議会司会進行：協議会要綱、規定により吉村課長が議長となる)
吉村課長	議題1. 河内晩柑(愛南ゴールド)PR・販売促進の報告について事務局に説明要請
事務局(近平)	<p>「会議資料により2件の河内晩柑(愛南ゴールド)PR・販売促進の報告」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛南ゴールドPR・販売促進(エミフルMASAKI) ・ぎゅぎゅっと愛南夏の陣「愛南ゴールドPR企画」
吉村課長	説明が終わりましたが、何か御意見、御質問はありませんか。
小野山委員	ぎゅぎゅっと愛南夏の陣は天候に恵まれ客入りも良かったように思います。人目を引く仕掛けがあれば良かったかもしれません。
吉村課長	愛南産河内晩柑としてのPRは出来たと思います。エミフルMASAKIでは南宇和高校生の力もあり、目標である1,000個の販売を達成しました。今後、実施に伴う課題や反省点を活かして来年もやりたいと思っています。
(株)IRC黒田	松山市の高島屋では美生柑が540円/個で販売されており、1個売りですごいと思いました。エミフルMASAKIで1個売りもされたのですね。これまで1個売りは美生柑だけですか？
和家委員	うちは出していないと思います。
(株)IRC黒田	ご存知の方は、同じ品種の河内晩柑だとわかりますが、袋にまとめて入って販売しているものと個売りとを比較した場合に、まとめて入っているものは安いというような先入観を与えることはないでしょうか？
河野委員	確かに単価も物によってピンキリです。

吉村課長	<p>美生柑というブランドはあります。価値はだれが決めるのか？エミフルMASAKIではどれぐらいで売めるのか？など販売促進を行う上での課題はあったのですが、今回は愛南産河内晩柑（愛南ゴールド）という名称で100円／個の相場を選びました。</p> <p>エミフルMASAKIの場合は、河内晩柑の知名度や商品名もバラバラという課題に対し、愛南産河内晩柑、愛南ゴールドとして広くPRできたらしとの思いで実施しました。結果をみても意義はあったと思っています。買われた方の中には知らない方もいたので、まだまだ伸びしろがあると思っています。</p> <p>実際に、目標の1,000個を売り切りました。この協議会を通して愛南産河内晩柑の底上げができればと感じています。去年はみしょうMICまつちかタウン店で愛南ゴールドの名称でPRを行いあまり知らない方も多かったように思います。エミフルMASAKIでは河内晩柑という認識もあって1,000個売れたのかなとも思っています。とにかく毎年重ねる毎にPRに強く繋がればと思っています。</p>
藤田委員	<p>実際に販売促進をされた木村委員はどうお考えですか？</p>
木村委員	<p>目を合わせると買ってくれました。アイコンタクトも大切だなと思います。認知度として美生柑はよく言われました。愛南ゴールドは何人かいましたかね。家族連れは子供を優先すると買われた方が多かったように思います。</p>
西崎委員	<p>ぎゅぎゅっと愛南夏の陣について、今後は箱入り買いの必要性を強く感じたところです。特に持ち運びも重たいし、箱入りで宅配はぜひ検討して頂きたいです。</p>
吉村課長	<p>会場内でも河内晩柑を販売しているブースが5か所程ありましたが、宅配を扱っているところはありませんでした。箱売り等も無かったので宅配は良いと思っています。</p> <p>今年度は地方創生事業で、町として統一して使えるPR用の箱の作成などを検討しています。青年農業者等に協力していただき、来年販売できたらと思っていますのでよろしくお願いします。</p>
河野委員	<p>エミフルMASAKIで販売した河内晩柑はいつの収穫のものを使ったのですか。</p>

事務局(近平)	イベント直前に収穫したものを使用しました。
木村委員	試飲用のジュースは喜ばれました。また、食べやすい河内晩柑の小玉サイズも喜ばれると思います。やはり販売先の話がありましたので、どこそこに行ったら買えますというリストがあれば、車で来た方などに活用されると思います。また、そのリストも各産直に置いていけばいいのですが。
吉村課長	「さんさん市」はかなり売れたと思います。そういうところも考えながら進めて行きたいと思います。
木村委員	でも同じブランドの柑橘で産直毎に差があると、ウロウロもしないといけないし、値段の統一も難しいですね。産地としては、おなじ形のものはどこに行っても同じ値段というのが安心感に繋がると思います。金額のある程度の統一を図っているところもあります。
吉村課長	議題2. 柑橘加工施設整備等意向調査について事務局に説明要請
事務局(近平)	「会議資料により柑橘加工施設整備等意向調査の報告」
(株)IRC 土岐	「会議資料により意向調査票の主旨説明」 アンケートと聞き取り調査によって加工施設の必要性を確認します。皆さんの意見をまず聞いた上で、どのような機能を有すべきなのか？質問を作りこんでいます。アンケートとしてボリューム感がありますが、これぐらい聞かないと加工場のイメージはつかないと思っています。
吉村課長	アンケートはこちらから送付させてもらって、返信用封筒で一度返してもらった方がいいのか迷うところです。ボリューム感もありますから。とにかく各戸に足を運んで周らせていただき、顔をみながらお話しできる状況をつくろうと思っています。
和気委員	マルエムは加工業者用については分かりません。
(株)IRC 土岐	調査票は2種類（生産者用・加工業者用）あり、加工業者用は

	町内の加工関係の方にのみ送ります
吉村課長	アンケートを送付させて頂いたあと、書けるところだけ書き、職員がお伺いした時に内容を確認するという方法もあります。いかがでしょうか。
松田委員	一度返して、周るというので良いと思います。
山本委員	前回は行ったアンケートと重複する設問もあるので、スリムにした方が良いでしょう。
吉村課長	前はあくまでアンケートです。今回は聞き取りであり、人・農地の確認もあります。だれが書いたのかも分からないのは嫌なので、個々に話をさせて頂いて内容を詰めたと思っています。
河野委員	問2「農業収入」は書きにくいですね。
吉村課長	記載しにくい箇所は未記入でも構いません
㈱IRC 土岐	例えば問10、問14、問31、問35の4つの問いは加工の規模はどれくらいかという読みに繋がりますので、可能な限り回答頂きたいと思います。
河野委員	数字が必要ということですね。
山田委員	問10は記入しようと思ってもわかりません
吉村課長	農林課が後日、農地台帳などを持って聞き取りをしますので、不明な点は空欄で構いません。地番など場所については難しい面もあろうかと思いますが分かる範囲でお願いします。記入頂いた数字は規模を検討する上での目安になります。加工場建設に至る場合、町としては補助事業を検討したいと思っており、稼働率なども課題になります。その内容を把握してするところでの事前調査でもあります。以前、高知県の三原村の選果施設・加工場を視察しましたが稼働に限られる面もあり、費用対効果の課題もあります。本町でも例えば青汁とかブロッコリーとか冬の稼働も可能な年間稼働も考えるべきかとは思っています。

山本委員	総合的な加工を考えているのですか？
吉村課長	六次産業として、出来るものがあれば検討したいです。例えば、加工を行う部屋の貸出とかもあります。結局は運営をどこがするかがネックになります。可能性としては農業公社や JA 出資型法人、NPO、株式会社等が考えられますが、皆さんが主役でやって欲しいのが町の気持ちです。加工場の機能としては、加工したものを売る方法もありますが、施設を利用し自分で販売するなど総合的な形が出来れば理想だと思います。近隣では公社の運用で自治体が財源補てんをしているところもありますが、町が財源をつぎ込むのは規模にもよりますが、やるべきではないという判断になるかもしれません。
木村委員	加工業者の方が 20 者ということで、生産者数に比べると約 1 割ですか。
山本委員	この方たちが売っていけばいいのですが、販路はどうするのでしょうか。販路開拓が出来ないと厳しいと思います。
吉村課長	販路は重要視するところです。現在、業務提携で制作している冷凍果汁の活用方法や、関東圏でジュースも出そうとしています。地方創生事業で水産課と一緒にマーケティング調査をするなど動きはあります。
山田委員	柑橘は裏年・表年があります。今年はダブついていて加工業者が受けてくれません。
吉村課長	その辺も併せて考える必要があります。(株)IRC はマーケティングの専門ですので問題点の解決方法とかアドバイスを頂きたいと思います。
和家委員	加工場ができたとして、販売はどうするのですか
吉村課長	マルエムは委託でジュースを作ってもらい、買取って売っているのですか
和家委員	必要な分だけ仕入れています

吉村課長	それは今回のアンケートや聞き取り調査の結果を受け、意向を聞いたうえで考えるべきところでもあります。
小野山委員	この加工場のイメージがつかみにくいです。ジュース加工ができるため、加工場が欲しいだけでは厳しい部分があります。
吉村課長	意向調査で傾向が概ね分かってくると思います。(株)IRC で取りまとめて頂きどういう方向が良いのか見えてくるとも思っています。
山本委員	一次加工をして、幅広い業者に売っていくのか？それとも二次加工をして販路開拓をするのか。手法によってずいぶん姿が変わってきます。
吉村課長	関東圏とかでどういうものが欲しいのか。冷凍果汁ならどういう活用ができるのか。そこは、検証しながらアンケートや聞き取りを実施してみて職員が顔を伺いながら話を聞くのが大事だと思っています。
小野山委員	既に加工を行われている酒井委員の現状を教えてください
酒井委員	ジュースは委託して作ってもらっています。それを元にゼリーを作っています。
吉村課長	機能性の「オーラプテン」とかが普及してくれば売れてくるのかなとも思います。
(株)IRC 黒田	酒井委員は搾汁する設備は持っているのですか。
酒井委員	持っていないです。今朝も息子が吉田町まで行って作ってもらいました。愛南町にあれば助かります。
吉村課長	他に質問はありますか →特になし アンケートの設問内容はこれで決定させて頂きたいと思いません。一度、期限までにアンケートを返送して頂き、それを持って職員が皆さまに聞き取りさせて頂きます。また、返送して頂

<p>(株)IRC 土岐</p>	<p>いてない方に対しましても申し訳ありませんが周らせて頂きます。</p> <p>10 月末を目途に全数全戸回収させて頂く計画です。回収と同時並行で集計等をこちらで行います。その結果をこの協議会で説明させて頂き、そのあとに、町内の生産者の方にアンケートの内容であったり集計であったり、分析の結果を説明会として 11 月に行いたいと思います。</p>
<p>吉村課長</p>	<p>その他ありますか？</p>
<p>玉井</p>	<p>「愛媛県が作成し河内晩柑パンフレットの説明」</p>
<p>事務局(近平)</p>	<p>「愛南柑橘の可能性を考える会（平成 30 年 7 月 26 日開催）の案内」</p> <p>「柑橘関係先進地視察の案内」</p> <p>→加工先進事例を軸に、中国方面の施設等を平成 30 年 10 月 3 日、4 日、5 日の日程で視察することを伝える</p>